

学校教育目標

自らの体験を通して 伸びようとする子どもの育成

めざす 子どもの姿

- 元気な子
自己効力感を高め、自分の成長を実感する子
- よく考える子
自分で考え判断し、学びを深め高める子
- ねばり強い子
自分と向き合い、ねばり強く取り組む子
- 思いやりのある子
自分や友だちを認め、大切にする子

めざす 教職員の姿

- 広い視野と豊かな人間性・社会性
「知ろう」「学ぼう」とする姿勢
- 確かな指導力・支援の目
豊かな専門性 ともに学びともに育つ
- 人権感覚・寛容さ
多様性を認め合う スクールコンプライアンス
- やりがいのある持続可能な働き方
風通しのよい職場づくり 職場の同僚性

保護者・地域 との連携

- 情報の共有
保護者や地域との対話 信頼関係の構築
ともに子どもを育てる意識づくり・関係づくり
コミュニティー・スクールの活用、連携
学校評価の活用
学校公開 ホームページの活用
おはようボランティア・パトロール隊の見守り
- 地域資源の活用
地域教材の活用 幼保小中連携・交流

笑顔がいっぱい！
「ごきげん」な

大鋸小

対話



【教育課程】

教科や各種行事等の目的やねらいを考えた活動（体験）の充実を図る
交換授業の実践、実績



【総務・庶務・経理】

計画的な予算の執行

【校内研究】

児童の実態に基づいた「全員参加」の授業づくり
豊かな体験や探究活動の充実により、資質・能力の育成を図る

【安全管理・地域連携】

地域と連携した交通安全教育、
防犯・防災・安全教育の充実



【児童指導・支援】

一人ひとりの児童が安心できる学級づくり・居場所づくりに努める
いじめの未然防止、校内支援体制の充実（課題把握・情報共有・見通し）



合言葉：「どうしたの？」 「どうしたいの？」 「私に手伝えることはあるかな？」